

継続的オンライン対応希望の申し出等について

一橋大学言語社会研究科修士・博士後期課程のみなさん

来年度の大学院の授業は基本的に対面になります。ただし一部の継続的に大学に来ることができないと考えられる方については、可能な限りオンラインで対応することになっています。

またゼミの選考についても、従来のように希望者が一同に集まる方式が困難な場合もありますので、教員によっては先行して早い時期から個別に相談を開始する場合があります。

については次の1.～3.について、各項目に記した内容に従って対応していただくようお願いいたします。

1. 各授業における継続的オンライン対応希望の申し出
2. 研究科教務担当に報告していただきたいケースについて
3. 2021年度ゼミ選考について

なおこの文書は、在学生に対しては一斉メールでお送りしますが、新入生に対しては、手書きのメールアドレスデータしかないため経験的に一定割合の不達が予想されますので、郵送でお送りしています。今後も新入生のみなさんには、大学メールが使用できるようになるまで一斉メールをお送りできませんので、言語社会研究科のWebサイトを定期的にチェックして下さるようお願いいたします。

1. 各授業における継続的オンライン対応希望の申し出

1) 申し出られる学生の範囲：

以下の(1)～(4)の事情により、新年度授業開始(4/8)から当分の間（おおむね1ヶ月以上）一橋大学に來校するのが困難と見込まれる学生。

- (1) 渡航のためのビザなどが取得できない、滞在国からの出国または日本への入国が認められないなどで、日本に入国できない場合
- (2) 本人が基礎疾患を有するなど重症化のリスクが高い場合
- (3) 同居家族の重症化リスクなど、事情があつて対面授業に参加することができない場合
- (4) その他上記(1)～(3)に準ずる場合

2) 1) に該当する学生のみなさんをお願いする対応：

・上記のような諸事情により当分学校へ来られない場合には、春夏学期に履修したい科目の教員に直接連絡をとって、履修方法について相談してください。その際、以下の事項を書き添えてください。ただし今回お願いするのは、言語社会研究科の科目についてです。

- a) 氏名
- b) 受講予定の科目
- c) 継続的なオンライン対応を行ってもらふことを希望する理由
- d) 大学の学生用Gmailの使用可能性(*1)
- e) d) 以外の使用を希望するメールアドレス
- f) Googleクラスルームや、Zoomの使用可能性

3) ゼミについて :

ゼミについては、3. のように、ゼミ指導教員により4月よりも早い時期から受付を始める場合もありますので、別添の表を参照して、適切な時期に相談を行ってください。

4) 教員に対する申し出の期限 :

履修登録期間の終わる4月14日(水) までとします。ただし授業準備上とくに事情があればシラバス(*2)に書きますので、注意してください。

5) 連絡先 :

各授業のシラバスを確認し、指定のメールアドレス宛てに、あるいは記載されている指示に従って、担当教員に直接連絡してください。

2. 研究科教務担当に報告していただきたいケースについて

1) 研究科事務室に報告していただく学生の範囲 :

以下のような事情により、新年度開始から当分の間(おおむね1ヶ月以上)一橋大学に来校するのが困難と見込まれる学生は、1. とは別に、下記の連絡先までお知らせください。

・渡航のためのビザなどが取得できない、滞在国からの出国または日本への入国が認められないなどで、日本に入国できない場合

2) 知らせていただくもの :

- a) 滞在している場所
- b) 大学の学生用Gmailの使用可能性(*1)
- c) b) が使えない場合のメールアドレス

3) 連絡の期限 : 3月15日(月) まで

4) 連絡先 : 言語社会研究科教務担当

lan-km@ad.hit-u.ac.jp

3. 2021年度ゼミ選考について

例年は4月に入ってから、決まった日に指定教室に集まっていたいでゼミ選考を行なっていますが、今年度は人数が多いことが予想される場合など、早めに個別選考を開始するケースもあります。そのため別添の「2021年度言語社会研究科ゼミ選考のご案内」に記載してある方法によって、適切な時期に参加申込みを行ってください。

(*1) 滞在国によってはGmailが読めない場合もあるようですので、お尋ねします。

(*2) 教員のシラバス入力締切は、3月12日です。ただしその後決定したことの修正等のために書き直されることもありますので、随時参照してください。

以上